

例10： 「中学校の思い出」

作文

上級

中等プログラム 5年

基準	A	B	C	D	E
得たレベル	-	-	5	5	-

背景

- 中等プログラム (MYP) において、小論文の書き方を学習し、生徒は課題の内容には慣れている。テーマは一週間前に発表されたので下書きを書く余裕があった。生徒は辞書を使って下書きを書いており、教師もそれに目を通している。教師は下書きの内容についてコメントを書き、文法の間違いをP、T、Kのアルファベットを使って生徒に示した。Pは助詞の間違い、Tは時制の間違い、Kは漢字の間違いである。こうしたアドバイスは実際的だと言えるのだが、アドバイスをしたということで教師は辛めの評価をしている。つまり高いレベルの日本語が要求されているということである。
- 制限時間は60分である。
- 実際に作文を書く際には、辞書や教科書は持ち込み不可としたが、箇条書きの小さなメモは持ち込み可とした。
- この課題は基準C及びD内で評価している。

<生徒についての情報>

生徒は日本語を五年間勉強している。同生徒は十分な日本語の力を持っており、旅行で短期間日本を訪問したこともある。同生徒は来年日本語BのHLを勉強したいとして、中等プログラムでは言語B上級を選んだ。

評価

基準C内容と構成

最高レベル8

この作品がレベル5を得た理由は以下の通りである。

- はっきりした序論、本論、結論という適切な構成で書いている。トピックセンテンスをうまく使っている。筋道立てて書かれている。
- 接続詞を上手に使っている。
- 全体的に単純な情報だが、そのほとんどを余裕を持って書いている。しかし、より複雑な情報を述べようとはほとんどしていない。
- テーマに沿った内容で全体的に理由付けができています。
- テーマを十分に理解している。

以下の項目ができていれば同生徒はより高いレベルに達したと思われる。

- もっと複雑な内容を書く。
- もっと詳しい描写や例を挙げて情報の理由付けをする。
- テーマをもっと深く掘り下げて考える。

基準D 言語

最高レベル8

この作文がレベル5を得た理由は以下の通りである。

- いろいろな語彙を正しく使っている。
- 基本文法は全体的に正確である。
- 複雑な文法には時折誤りが見られるが、理解を妨げるほどではない。
- 漢字の使い方に優れ作文の質を高めている。
- 言葉遣いも文体も適切で、明らかに読み手を意識している。

同生徒が以下の条件を満たせばより高いレベルに到達したと思われる。

- 語彙の範囲を広げる。
- もっと正確により広い範囲の文法事項を用いる。
- 慣用表現を含める。

生徒回答

「中学校の思い出」 についての 作文を書いてください。〔600字〕

「中学校の思い出」

私は四年前にホンコンから、シンガポールへ行きました。そして、「***」に入学しました。その時に、英語は上手になった、たくさん友達が会いました。だから、新しい生活がありました。次の文は私の中学校のお思いです。

私は六年生の時に、シンガポールに留学しました。最初に私は英語はあまりわからないから、SPP の勉強をしました。英語は下手な人は SPP クラスで勉強します。そして、私は友達が少ししかいなかったから、いつも教室にいました。私は英語が上手じゃなかったから、おしゃべりをした時に、ボディランゲージをときどき使いました。それから、英語レースに、正しい答えを返答すると、先生はおかしをくれます。だから、この先生は大すきでした。

七年生時に、私は本科になりました。もっと友達が会いました。休みに、友達といっしょにあそんだから、とてもおもしろかったです。そして、日本語の勉強を始めました。先生と学生と、いっしょに日本へ行きました。お寺へ行った、たくさん買い物をしました。それから、先生とおみせんへ行きました。これはとてもおもしろくて、いいことでした。先生の家で、おもちゃおにぎりを作りました。この日本旅行はとてもおもしろかったです。

私は八年生時に、たくさん友達がいました。教室にいつも会話があるから、つまらなくなかったです。そして、ほかの学生と、いっしょにタイへ行った、小さいアパートにとまりました。タイでたくさん買い物をしたから、バーゲンをしました。それから、ぞうの上に乗りました。とてもこわくて、おもしろかったです。夜のパーティにいっしょに大きいランプを作った、そらにあげました。

でも、九年生はぜんぜん違いました。いつも勉強したから、きんちょうをしました。旅行はありませんでした。「しけんはいい点をもらう」とお思いました。でも、友達といっしょにあそぶ時間は少しあるから、とてもつまらなかったです。

いま、私は十年生です。今年は英国のしけんをするから、とても大切です。宿題はいっぱいがあるから、もっときんちょうをします。それから、PP はおわりました。私の PP は音楽を書きました。学校はむずかしいだから、「しけんを早くおわって」とお思っています。